



パソコンボランティアをやつてみよう

人と接するのが好きな方、パソコンが得意な方、パソコンわかばくらぶの皆さんと一緒にシニアの方対象のパソコン講座でパソコンボランティアに参加してみませんか？はじめてでも大丈夫、楽しみながら活動しましょう。



回	日時	内容
1	1/15(木) 13:30~15:30	応対の練習や、ボランティアとして参加するパソコン講座の予習をします。
2	1/19、26、2/2、9、16 の月曜日 13:30~15:30 ※いずれか 1 日を選択	小鹿老人福祉センター事業「パソコンで回覧板や会計報告を作ろう！」にボランティアとして参加します。 参加可能な日時を 1 日お選びいただきます。

パソコンわかばくらぶとは？

パソコンわかばくらぶは平成 12 年静岡県立大学大学院経営学研究科の学生を中心に発足しました。静岡市を中心にシニアのパソコン・ライフの支援やコミュニティ作りができるように活動しています。

→裏面に、ボランティアさんの体験談を掲載しています♪



会場 健康文化交流館来・て・こ 2 階 OA ルーム 2

会費 無料

対象 どなたでも 10 人

申込 HP または往復はがきでお申込みください。12/14(日)必着(多数抽選)

※定員に達しない場合は 12/15(月)10:00 より電話で受付します(申込順)

往復ハガキ:講座名、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、返信用宛名を記入して、
駿河生涯学習センターまでお送りください。

HP の場合:下の二次元コードを読み込み、または静岡市生涯学習センターHP の「講座情報」タブをクリック、「講座検索」で「駿河生涯学習センター」を選択して検索、講座名をクリックすると講座詳細が表示されます。「講座のお申込み」ボタンから必要事項を入力してお申込みください。

※HP 申込には会員登録が必要です。(無料)



駿河生涯学習センター(健康文化交流館来・て・こ内)

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目 25-45

電話番号 054-202-4300

HP <https://sgc.shizuokacity.jp/>



申込はこちらからどうぞ
※WEB からの講座申込には
会員登録が必要です

<パソコンわかばくらぶのボランティアさんの声(一例です)>

- 1.ボランティアをしようと思ったきっかけ、動機
・広報静岡でボランティア募集中を知りました、
PCの勉強中でしたので役にたてばと思いました。
- 2.やってよかったこと、うれしかったこと
・解った！！ 有り難う と言われた時。
- 3.ボランティアをやってみようという方に一言！
・年齢差を越えて交流出来て、ここに来て良かった
と言われた時は嬉しいですよ。

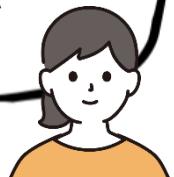


1.ボランティアをしようと思ったきっかけ、動機
私は 2000 年の後半に初めてパソコンを購入しました。

以前から夢だったインターネットというものにカルチャーショックを受け、世界が広がりました。この楽しさを多くの方に知っていただきたいと思いボランティアになりました。

- 2.やってよかったこと、うれしかったこと
・他のボランティアさんに分からぬ筆を聞けること
色々な講座に参加してスキルアップできること
相談者の方、受講生の方に喜んでいただけたこと
沢山の方と話ができたこと

- 3.ボランティアをやってみようという方に一言！
・これから生きがいにいかがでしょうか



- 1.ボランティアをしようと思ったきっかけ、動機
・現役を引退し時間に余裕ができたこと
・上記の結果、出会い(会話)が減少することを少しでも減らしたかったこと
・自分にできること(これまでに得たパソコンの知識)で社会に役立たせたこと

- 2.やってよかったこと、うれしかったこと
・たくさんの新しい出会い(会話)ができたこと
・サポートが感謝され役に立ったことが実感できたとき
・個々の(人により)使用目的が異なるので、
自分の知らなかった使用方法を新しく学べたこと

- 3.ボランティアをやってみようという方に一言！
・相談者が何を求めてるかを理解して、それに沿ったアドバイスをしてあげることが大切だと思います
・相手が理解するまであきらめずに繰り返し説明してあげましょう
・達成感をぜひ味わってください



- 3.ボランティアをやってみようという方に一言！
・質問される PC アプリケーションの全てが分かっていなくても、自分の知っていることで役にたつことがあればそれを伝えるという姿勢でよい。

自分の知らないことはそのことを知っている他のボランティアに任せれば良い。(質問に対して、知っていることだけ答えて、その他の分からることは誰々さんに代わって答えてもらう姿勢でよい。分からることは自宅に戻って勉強すれば自分の知識になり、次の機会に対応できる)

・質問に対して、常に縦糸に水を流すような応答ができることが必ずしも良い PC ボランティアではない。大切なのは質問した人が確かに分かったという気持ちになることである。訥訥とした応答の方が質問者にとって還って理解し易い場合は往々にしている。要は知識ではなく、質問に真摯に向き合って共に解決して行こうという PC ボランティアの姿勢が質問する人に伝わることが大切。

